



夏目漱石記念施設整備便り

ともに創ろう、漱石山房記念館

発行元
新宿区
文化観光課文化資源係
〒160-8484 東京都新宿区
歌舞伎町一丁目5番1号
電話：(03)5273-4126
FAX：(03)3209-1500



▲記念館完成イメージ模型



▲漱石山房展示室



▲漱石公園側

記念館名称決定

「新宿区立漱石山房記念館」

平成28年10月13日(木)区議会の議決をもって、記念館の名称が「新宿区立漱石山房記念館」に正式決定しました。
建設、資料収集、展示制作、ブックカフェ事業者の選定等、平成29年9月の開館に向けて着々と準備が進んでいます。

■建設状況

平成28年4月の着工から建設工事は順調に進んでおり、平成28年10月現在、1階の床までのコンクリート打設が終わっています。竣工は平成29年5月を予定しており、竣工後は展示制作等の準備に入っていきます。



▲建設工事の様子(平成28年10月撮影)



▲漱石山房展示室にあたる場所(平成28年10月撮影)

■記念館公式ホームページ

新宿区立漱石山房記念館ホームページでは、「吾輩ブログ」をはじめ、記念館の整備状況やイベント情報などを随時更新していきますので、どうぞご覧ください。「漱石 記念館」で検索できます。

<http://soseki-museum.jp/>

■平成28年度新宿区夏目漱石コンクール

「新宿区夏目漱石コンクール」に全国からたくさんのご応募をいただきました。応募状況及び審査結果は次のとおりです。

◆読書感想文コンクール

「わたしの漱石、わたしの一行」中学生の部、高校生の部

漱石作品の文章中で心に残った「一行」を選び、なぜその一行を選んだのか、1,000～1,200文字で表現する。

応募総数 1,928点(中学生 30校 1,189点、高校生 25校 739点)

◆絵画コンクール

「猫になって描いてみよう〜わがはいはネコである〜」

小学生低学年(1・2・3年生)の部、高学年(4・5・6年生)の部
自分がネコになったつもりで、あるいはネコの気持ちになって、「猫の目から見た世界」を八つ切りサイズの画用紙に自由に描く。

応募総数 1,005点

(小学生低学年 75校 643点、小学生高学年 56校 362点)

◆審査結果

最優秀賞 各1点、優秀賞(後援企業・大学賞含む) 各5点

佳作 中学生 11点・高校生 10点・小学生低学年 10点・小学生高学年 14点

※後援企業・大学賞は朝日新聞社賞、紀伊國屋書店賞、新潮社賞、早稲田大学賞です。

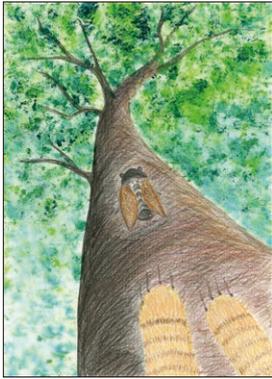
※他の受賞作品やコンクール詳細は、新宿区公式ホームページ

(<http://www.city.shinjuku.lg.jp/>)をご覧ください。



絵画・小学生低学年の部 最優秀賞
「夏休のねこ」

世田谷区立鳥山小学校 2年 林 光太郎さん



絵画・小学生高学年の部 最優秀賞
「セミくん、一緒に遊ぼうよ!」

さいたま市立文蔵小学校 5年 加登 可奈子さん

コラム「ちよつと道草」

貴重な資料や書籍をご寄贈いただきました。

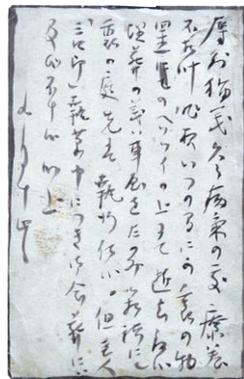
新宿区では、漱石山房記念館の整備を開始して以来、主要作品の初版本等を購入するなど資料収集を行ってきました。またこの間、記念館整備の趣旨にご賛同いただいた方々より、貴重な一次資料(実物資料)や数多くの書籍をご寄贈いただきました。今回は、その一部をご紹介します。

◆夏目金之助 鏡子宛て書簡(明治三十五年十月)

英国留学中の漱石が、ロンドンから鏡子夫人に宛てた書簡で、洋紙二枚に万年筆書きです。漱石が長女筆子と、鏡子の弟の中根倫(ひとし)の日記の文面を読み、倫の成長を感じとり、人間の価値は大体十八〜二十歳の間に決まるから、青少年期の学習と修養が大切だと述べています。ロンドン特有の天候、特に名物の霧のことなども書かれています。

◆夏目金之助 松根豊次郎宛て葉書(明治四十一年九月)

漱石山房から弟子の松根豊次郎(俳人松根東洋城)に宛てた葉書で、「猫の死亡通知」と呼ばれています。漱石が『吾輩は猫である』のモデルとなった猫が死んだ際に、弟子の小宮豊隆・鈴木三重吉・野上豊一郎と松根東洋城の四人に出したとされるもので、ユーモアあふれる文面となっています。



以上二点のほかにも、自筆書簡や初版本等を寄贈・寄託していただきました。また、約七千冊に及ぶ関連書籍もお寄せいただきました。書籍の中には希少本やタイトルには漱石が現れないもの等、体系的に収集することが難しいものも含まれています。漱石山房記念館は重要資料収蔵庫や図書室を備えており、ご寄贈いただいた貴重な資料を未来に継承し、広く公開・活用していくことができます。資料をご寄贈いただいた皆様にあらためて御礼を申し上げますとともに、これからも積極的に資料の受入れを行ってまいります。どうぞよろしくお願いたします。

■夏目漱石記念施設整備基金への寄付状況

新宿区は、漱石山房記念館の整備に多くの方にお力添えをいただきたいと考え、平成25年7月から寄付を募集しています。11月30日現在で8,977万2,000円(1,831件)の寄付が寄せられています。皆さまからのご寄付は、記念館の建設と資料の収集に活用いたします。10万円以上ご寄付いただいた場合は、記念館内に設置する銘板に記名させていただきます。